

国東市地域おこし協力隊

 <https://www.facebook.com/kunisakiohen>

国東協力隊通信

国東市役所 活力創生課
 地域支援係 ☎0978-72-5175
<http://web.city.kunisaki.oita.jp/>

協力隊が県外各地でPR活動



② 28日 西日本新聞 移住・定住フェア2016

福岡市天神で開催された西日本新聞移住・定住フェア2016に参加してきました。今回は国東半島のブースで豊後高田市・杵築市・姫島村と合同で行いました。合同での開催は初めてだったので、不安もありましたが国東半島全体で取り組むことは大変素晴らしい事だとも感じました。フェアの内容としまして移住相談などはもちろん、移住セミナー等も同時に開催されており多くの方が入場されておりました。国東半島のブースには20名近くの方が話を聞きに来ていただきました。「国東市で農業をやってみたい」や「自然豊かな所で老後はゆっくり生活したい」など国東市だけのブースの時よりも国東半島に興味のある方と知り合えて、大変うれしく思いました。今後もより一層国東市の魅力を頑張っておアピールして行きたいと思っております。

③ 12日(土) 第6回おおいた暮らし塾in大阪 ~田舎で暮らす。仕事の作り方!~

県が主催するおおいた暮らし塾に参加出展してきました。来年度は、おおいた暮らし塾に力を入れていかれるそうなので、様子を見たかったのもあり参加出展してきました。今回は、アドバイザーが国東市に縁ある方々が選ばれていましたので、丁度よいタイミングの参加だったと思います。予約時点では6組の参加予定でしたが、最終的には10組13名の方に訪れていただき大分県での暮らし、田舎での仕事の作り方、国東市の事を少しでも解っていただけたのではと思います。アドバイザーの方3人が、実際に大分県へ移住し起業された方々で、実体験を交えてのお話でしたので、リアルに参加者には伝わったと思います。国東市に興味を持たれて参加されている方はいない感じでしたが、国東市のブースにも来ていただき、移住者の一人としてお話をさせていただきました。国東市に限らず大分県へ移住する第一歩になって頂ければと思います。



③ 12日(土) 13日(日) LOVE FM FESTIVAL アンテナショップQuattro Yocchi

福岡市役所前ふれあい広場にて行われた、LOVE FM FESTIVALにアンテナショップ、Quattro Yocchi(クワトロヨッチ)として参加し、アンテナショップのPRを行ってきました! イベントではいくつかの商品販売と、店内の看板メニュー、半島産の食材を使ったヨッチピザの販売を行い、また、先着で商品ご購入の方にスイートピーのプレゼントや半島産の乾燥椎茸をつかみ取りでプレゼントするなど、多くの方へアンテナショップのご紹介ができたかと思っております。今後もクワトロヨッチを通じて国東のPRができるよう活動していきます。

↑ 市内で使われていない家をお持ちの方は、是非空き家バンクへご登録をお願いします。

今までありがとうございました。



約3年間ありがとうございました
越名 秀樹

愛知県長久手市から、単身で武蔵町池ノ内にある妻の祖母が住んでいた家を借り、平成25年6月より国東市役所にて、空き家バンクのお手伝いをさせていただきました。結婚をし、毎年お盆の時期に旅行を兼ねて、この国東の地に訪れるようになり、空気感がとても気持ちよく感じ、海で遊ぶ子ども達の姿、田んぼの畦道を子ども達と散歩、いつかはこの地で住んでみたいと思うようになり、当初は向陽台に家を建てるつもりで、土地を購入し友人の建築士と一緒に設計を進め移住計画を立てていたのですが、空き家バンクの仕事を手伝ううちに、国東市の空き家の多さ、古民家への魅力を一段と感じ、空き家をこのままにして、新しい家を建ててしまうのはと悩むようになり、友人・家族に相談し空き家バンクで家を借りる方向に変更し、家族で住む移住地を探すことに。子ども達の事を一番に考え、選んだのが現在住んでいる武蔵西小学校区の武蔵町手野の地。

国東市内の小学校で、毎日の様に学校の様子が解る

ホームページで、蛇谷太鼓やホタルまつり、餅つきなど、魅力が沢山ある学校だったので、長久手市にいる妻、子ども達には解りやすく映ったと思います。今は、武蔵西小学校区の今後を考え、少しでも力になれるよう、手野神楽・吉弘楽・丸小野子供修正鬼会・ホタルを育てる会など地域の祭りごと等には参加をさせて頂き、消防団など地域に入り込み地域の為、国東市の為に少しでもお役に立てれる様やっていきたいと思っています。地域おこし協力隊としては卒業ですが、上司の方々から来年度も市役所に残って欲しいというお言葉をいただきましたし、自分自身も、今の状況で去るわけにはいかないという思いがあり、協力隊という立場ではなくなりますが、市役所に残ることとなりました。今までありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

地域おこし協力隊は卒業します。



約1年間ありがとうございました
荒井 ちひろ

国東市に住み始めてようやく1年が経とうとしています。私にとって国東市での1年間は通常の3年分くらいあるとても濃い時間になりました。

協力隊として関わった仕事は空き家バンク、芸術祭関連、ふるさと納税などいろいろありましたが、私がいちばん力を入れたのはDIY講座と移住ツアーの同時並行企画です。様々な年代の方にご参加いただき、今富正幸さんの名講師ぶりが好評の講座となりました。(こういった形になるかはまだわかりませんが、来年以降も続けていきたいと考えています。)また、企画段階からイベント

当日まで、市役所の職員さんたちには様々な面でサポートしていただきました。これまで外からのイメージでしかなかった自治体の論理を現場で体感でき、私自身も得るものの多い講座でした。

私生活では、国東半島のいろんな場所を案内してもらったり、それをSNSを通じて発信しているうちに市外・県外から友人・知人・知らない人まで訪ねてきてくれたりと、面白いことがたくさん起きました。その中で改めて感じたのは、この土地に潜むポテンシャルの高さです。私は3月末で協力隊を辞めますが、来月以降も引き続き国東市に住みます。具体的にはまだ模索中ですが、国東半島を発信していくことを続けていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

国東こねぎトレーニングファーム農業研修生2期生が空き家バンクを通して新規就農で移住

昨年度より国東こねぎトレーニングファームで農業研修を行うため、福岡県から移住されて来たお二人。研修生は三人いらっしゃるのですが、今回は、空き家バンクの物件を借り、地域に入り住まわれるお二人を紹介致します。

富来の物件に入り、就農される堀ノ内俊統さん29歳。独立を目指し、こねぎの道へ。



堀ノ内俊統さん



川原慎也さん

大恩寺の物件に入り、就農される川原慎也さん26歳。九州内で農業を考えており、こねぎの道へ。

二人とも、富来に畑を5反借り、約16棟のハウスを建て、こねぎ農家としてスタート致します。地域の方々にも見守られ、やる気充分なお二人。今後が楽しみです。応援よろしくお願いします。



区長さん等も参加し家のお祝い



建設中のハウス

今号をもちまして、協力隊通信はひとまず終了とさせていただきます。今まで読んでいただきありがとうございました。